

【NEWS RELEASE】

2021年6月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社カネガエに「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取CEO：高島 誠）は、株式会社カネガエ（代表取締役：鐘ヶ江 貴光）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社カネガエについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

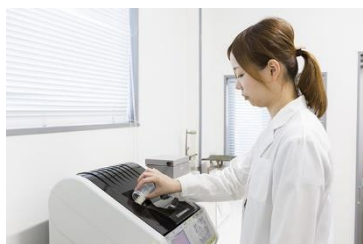
① 環境に配慮したお米の買付による持続可能な生産環境の整備、徹底した品質管理による食品ロスの削減

目標2 飢餓を ゼロに	2.4 2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水およびその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。
目標12 つくる責任 つかう責任	12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体のひとりあたりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

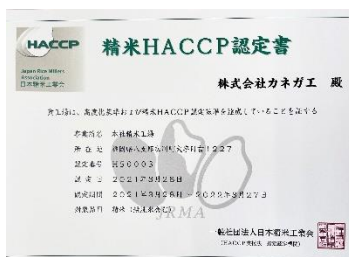
② 九州ライスストレージ事業やお米の寄付を通じた貧困削減、お米の消費拡大への貢献

目標2 飢餓を ゼロに	2.3 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場および高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民および漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性および所得を倍増させる。
目標1 貧困を なくそう	1.2 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



異物・変色した米を除去する
最新精米設備



HACCP 導入



精鋭機器を駆使し丁寧な製造

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことで。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。